

2020年度（2019年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-3-3

事務事業名	簡易水道給水設備事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

簡易水道区域の水道水使用料を検針するため、計量法対象量水器を町で購入し、貸付けを行っている。

〔2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法〕

計量法で計量機器製造合格後8年を経過した量水器は更新するよう定められているため、設置または更新後8年を迎える年に更新を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	408,844	586,180	67,000	67,000	67,000	67,000
		一般財源	円	5,856,992	2,262,860	1,672,000	3,551,000	3,551,000	3,551,000
		事業費計(A)	円	6,265,836	2,849,040	1,739,000	3,618,000	3,618,000	3,618,000
人件費	正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
	人工数(業務量)	人工	0.0792	0.0291					
	人件費計(B)	円	616,142	226,920	0				

トータルコスト(A+B)	円	6,881,978	3,075,960	1,739,000			
--------------	---	-----------	-----------	-----------	--	--	--

事務事業名	簡易水道施設整備事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 老朽化する水道施設に関して改築更新などを計画的に行い、安全安心な水道水を安定的に供給できるよう事業を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 簡易水道施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 簡易水道施設を正常に機能させる
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 安全安心な水道水の安定供給につなげる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 更新した機器	基
② 更新した施設	箇所
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 対象機器	基
② 浄水場・配水池施設	箇所
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 施設稼働率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円	44,900,000	54,800,000	106,000,000	230,300,000	374,000,000	303,600,000
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,201,540	2,807,730	6,329,507	11,873,000	14,579,000	18,419,000
	事業費計(A)	円	47,101,540	57,607,730	112,329,507	242,173,000	388,579,000	322,019,000
人件費	正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.1302	0.0659	0.1205			
	人件費計(B)	円	1,012,899	513,885	966,223			
	トータルコスト(A+B)	円	48,114,439	58,121,615	113,295,730			
活動指標	① 基		4	3	0	0	6	1
	② 箇所		0	0	0	1	1	0
	③							
対象指標	① 基		86	86	86	86	86	86
	② 箇所		10	10	10	10	9	9
	③							
成果指標	① %		100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
上位成果指標	① %		83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	90.9
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の3簡易水道が供用開始され、30年以上が経過しており、老朽化が課題となっている。 河北簡易水道については、夏場の水量不足や施設の老朽化を解消するため、平成26年度より道営農用水事業河北地区との合併施工にて再整備を実施している。また上美生簡易水道については、配水池容量が少ないため、漏水等が発生した場合、断水等のリスクが高い状態である。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 河北簡易水道においては、引き続き道営事業との合併施工にて再整備を実施していく。また上美生簡易水道においては、配水池容量の見直しを行い、新築での更新を行う。 他の既存施設についても、今後老朽化が進んでいくことから事業の内容、緊急性など優先度を見極め計画的な更新を実施していく。
--	---

事務事業名	簡易水道配水本管等整備事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 簡易水道配水管更新工事及び給水工事(公道部)を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 配水本管及び給水装置の新設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 水道水の安定供給及び未普及世帯への供給
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 安全安心な水道水の安定供給につなげる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 給水工事件数(公道部)	件
② 配水管更新及び移設延長	m
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 簡易水道配水本管延長	km
② 給水装置設置戸数	戸
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 有収率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円				9,200,000	58,900,000	
	その他(使用料等)	円	364,608	3,098,898	513,124	283,000	255,000	255,000
	一般財源	円	△ 148,608	1,777,302	△ 134,724	4,849,000	4,699,000	4,699,000
	事業費計(A)	円	216,000	4,876,200	378,400	14,332,000	63,854,000	4,954,000
	人件費							
正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
人工数(業務量)	人工	0.0420	0.0777	0.0263				
人件費計(B)	円	326,742	605,901	210,885				
トータルコスト(A+B)	円	542,742	5,482,101	589,285				
活動指標	①	件	2	4	4	1	1	1
	②	m	0	79	0	0	1,900	0
	③							
対象指標	①	km	150	150	150	150	150	150
	②	戸	454	459	466	469	472	475
	③							
成果指標	①	%	83	82	80	86	86	86
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	90.9
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の3簡易水道が供用開始され、30年以上が経過しており、今後漏水量の増加が懸念される。河北簡易水道においては、道営農業用水事業河北地区との合併施工で送配水管及び重要路線の布設換えを計画している。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 河北簡易水道においては、引き続き道営事業との合併施工にて配水本管の布設換えを実施し、既設給水管については町で切換工事を実施する。上美生簡易水道区域においては、耐用年数を超過している管路の布設換えを実施する。
--	--

事務事業名	上水道(第6期)拡張事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続実施

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 水道水未普及区域の解消を行い水道普及率を向上させるとともに、老朽化する水道施設の改築更新などを計画的に行い、安全安心な水道水を安定的に供給できるよう事業を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 上水道施設及び配水管
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 水道施設を正常に機能させる。また未普及区域に水道配水管を布設し水道普及率を向上させる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安心安全な水道水の安定供給につなげる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 更新した機器	基
② 改築・更新した施設	箇所
③ 新設管路延長	km

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 対象機器	基
② 浄水場・配水池施設	箇所
③ 配水管延長	km

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 施設稼働率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
② 水道未普及区域	戸
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円	191,200,000	126,700,000	118,000,000	58,700,000	31,100,000	24,800,000
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	3,875,976	868,221	778,702	799,000	435,000	499,000
	事業費計(A)	円	195,075,976	127,568,221	118,778,702	59,499,000	31,535,000	25,299,000
人件費	正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.4877	0.5967	0.5747			
	人件費計(B)	円	3,794,094	4,653,038	4,608,203			
	トータルコスト(A+B)	円	198,870,070	132,221,259	123,386,905			
活動指標	① 基		8	1	1	1	1	1
	② 箇所		0	1	1	1	0	0
	③ km		33	12	10	1	0	0
対象指標	① 基		101	101	105	105	105	105
	② 箇所		8	8	8	8	8	8
	③ km		332	344	354	355	355	355
成果指標	① %		100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
上位成果指標	① %		83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	90.9
	② 戸		85	79	62	40	20	0
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 水道未普及区域解消のため道営営農用水事業雄馬別第2地区との合併施工により事業を実施している。2018年度より一部区域に通水開始した。また芽室浄水場については、建設より40年以上経過しており、老朽化や耐震不足が課題となっている。	2. 今後の取組(2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 水道未普及事業については、2020年度までに配水本管を整備し、全区域に通水開始を完了させる計画である。また芽室浄水場については、長期的に利用できるよう耐震補強を実施する。 他の既存施設についても、今後老朽化が進んでいくことから、事業の内容、緊急性など優先度を見極め計画的な更新を実施していく。
--	---

事務事業名	上水道給水設備事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 計量法に基づき量水器の更新取替及び新規に給水設備を設置する方に町で量水器を購入し貸付けを行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 量水器
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 正確な有収水量の計測
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 計量法を遵守するとともに、水道普及率を向上させる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 更新取替台数	台
② 新設台数	台
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 給水装置設置戸数	戸
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 検定合格率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
② 水道未普及区域	戸
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	7,199,085	9,753,177	9,281,160	7,440,000	7,440,000	7,440,000
	一般財源	円	14,745,219	26,877,075	20,409,438	33,454,000	33,454,000	33,454,000
	事業費計(A)	円	21,944,304	36,630,252	29,690,598	40,894,000	40,894,000	40,894,000
人件費	正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.3195	0.2174	0.2268			
	人件費計(B)	円	2,485,571	1,695,275	1,818,584			
	トータルコスト(A+B)	円	24,429,875	38,325,527	31,509,182			
活動指標	①	台	691	874	843	1,115	1,115	1,115
	②	台	77	120	101	120	120	120
	③							
対象指標	①	戸	6,914	6,996	7,047	7,167	7,287	7,407
	②							
	③							
成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	90.9
	②	戸	85	79	62	40	20	0
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上水道区域の水道水使用料を検針するため、計量法対象量水器を町で購入し、貸付けを行っている。また計量法で計量器製造後8年を超過した量水器は更新するよう定められている。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 設置または更新後8年を迎える年に更新を行う。
---	---

事務事業名	浄水場・配水池維持管理事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 浄水場・配水池施設の維持管理及び施設の各機器が正常かつ安定的に運転するための管理業務。
2. 対象(何を対象にしているか) 浄水場・配水池
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 浄水場・配水池施設の正常な運転と施設の長期利用に向けた維持管理を実施する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安全安心な水道水の安定的につながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 修理改善した機器	基
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 対象機器	基
② 浄水場・配水池	箇所
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 施設稼働率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
② 水道未普及区域	戸
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	123,700	126,300	128,100	138,000	138,000	138,000
	一般財源	円	30,217,297	33,189,227	33,618,127	44,922,000	44,922,000	44,922,000
	事業費計(A)	円	30,340,997	33,315,527	33,746,227	45,060,000	45,060,000	45,060,000
人件費	正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.4783	0.4401	0.3941			
	人件費計(B)	円	3,720,966	3,431,879	3,160,071			
	トータルコスト(A+B)	円	34,061,963	36,747,406	36,906,298			
活動指標	①	基	1	1	1	5	5	5
	②							
	③							
対象指標	①	基	101	101	105	105	105	105
	②	箇所	8	8	8	8	8	8
	③							
成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	90.9
	②	戸	85	79	62	40	20	0
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 芽室浄水場は建築後40年以上経過しており、施設の老朽化が課題となっている。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 長期にわたり施設を利用できるよう点検や整備を行い、既存施設を運用しながら修理や補強を行うことが必要となる。
--	--

事務事業名	配水管及び給水管維持管理事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 配水管・公道部給水装置の維持管理業務及び公道部給水工事を実施する。
2. 対象(何を対象にしているか) 水道配水管及び公道部給水装置
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 水道水の安定供給及び未普及世帯への供給
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 安心安全な水道水の安定供給

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 修理した給配水管	箇所
② 修理した消火栓	箇所
③ 給水工事件数(公道部)	件

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 配水管路延長	km
② 消火栓基数	基
③ 給水装置設置戸数	戸

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 有収率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
② 水道未普及区域	戸
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	4,695,496	5,094,792	6,534,992	5,768,000	5,218,000	5,218,000
		一般財源	円	2,095,516	5,376,428	13,761,008	23,381,000	21,531,000	19,949,000
	事業費計(A)	円	6,791,012	10,471,220	20,296,000	29,149,000	26,749,000	25,167,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
人工数(業務量)		人工	0.2627	0.2312	0.2248				
人件費計(B)		円	2,043,692	1,802,887	1,802,547				
トータルコスト(A+B)		円	8,834,704	12,274,107	22,098,547				
活動指標	①	箇所	7	12	10	10	10	10	
	②	箇所	1	2	3	2	2	2	
	③	件	56	78	86	100	100	100	
対象指標	①	km	332	344	354	355	355	355	
	②	基	292	289	289	289	289	289	
	③	戸	6,914	6,996	7,047	7,167	7,287	7,407	
成果指標	①	%	91	89	88	90	90	90	
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	90.9	
	②	戸	85	79	62	40	20	0	
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上道区域内の水道管は2019年度末時点で約354km埋設されていますが、竣工図面は紙データのみでの保存となっており、緊急時の対応や今後の維持管理に支障が与えることが予想される。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 紙図面等を電子化にすることで、いつ誰でも緊急対応できるよう台帳整備を実施する。また2018年12月の水道法改正により2021年度までに台帳整備が義務化となっている。
---	---

事務事業名	配水管整備事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 老朽化した水道本管を計画的に更新し安全安心な水道水を安定的に供給できるよう事業を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 上水道区域内の配水管
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 既設石綿セメント管を耐震管等に布設換えを行い災害に強い施設にするとともに、配水管からの漏水を抑制し有収率を向上させる
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安全安心な水道水の安定供給につなげる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 布設換延長	m
② 消火栓更新	基
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 配水管延長	km
② 消火栓基数	基
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 石綿管残延長	m
② 有収率	%
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
② 水道未普及区域	戸
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円	28,900,000	27,000,000	26,600,000	29,900,000	29,900,000
		その他(使用料等)	円		1,812,240	485,100	0	485,100
		一般財源	円	65,600	34,560	22,900	100,000	100,000
	事業費計(A)		円	28,965,600	28,846,800	27,108,000	30,000,000	30,485,100
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3	3	3
人工数(業務量)		人工	0.1247	0.1734	0.1156			
人件費計(B)		円	970,112	1,352,165	926,933			
トータルコスト(A+B)		円	29,935,712	30,198,965	28,034,933			
活動指標	①	m	508	527	476	612	500	
	②	基	0	3	1	0	1	
	③							
対象指標	①	km	332	344	354	355	355	
	②	基	292	289	289	289	289	
	③							
成果指標	①	m	3,366	2,839	2,363	1,751	1,251	
	②	%	91	89	88	90	90	
	③							
上位成果指標	①	%	83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	
	②	戸	85	79	62	40	20	
	③						0	

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 創業当時に埋設されていた、石綿セメント管は耐震性が弱く、漏水する可能性も高いこと、また耐用年数を経過した水道管も増加傾向であるため、今後安定的な供給に支障が出ることが予想される。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 耐用年数が超過する水道管が増加することから、路線の重要度を見極め計画的な更新を行う。
--	---

事務事業名	簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業	所属部門	水道課 水道工務係
町長公約	水道関連施設の老朽化対策	公約達成年次	継続事業

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 簡易水道施設を正常に機能させ、安全安心な水道水を安定的に供給するため維持管理事業を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 簡易水道施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 簡易水道施設を正常に機能させる
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 安全安心な水道水の安定供給につなげる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 修理した機器	基
② 修理した施設・管路	箇所
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 対象機器	基
② 浄水場・配水池	箇所
③ 配水管延長	km

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 施設稼働率	%
② 有収率	%
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 水道普及率	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	33,760	36,810	46,750	27,000	26,000	26,000
	一般財源	円	20,042,831	17,811,979	18,402,656	25,756,000	18,604,000	30,750,000
	事業費計(A)	円	20,076,591	17,848,789	18,449,406	25,783,000	18,630,000	30,776,000
	人件費							
正職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
人工数(業務量)	人工	0.7141	1.1042	0.9120				
人件費計(B)	円	5,555,387	8,610,499	7,312,825				
トータルコスト(A+B)	円	25,631,978	26,459,288	25,762,231				
活動指標	① 基		4	1	6	5	5	5
	② 箇所		5	6	7	3	3	3
	③							
対象指標	① 基		86	86	86	86	86	86
	② 箇所		10	10	10	10	9	9
	③ km		150	150	150	150	150	150
成果指標	① %		100	100	100	100	100	100
	② %		83	82	80	86	86	86
	③							
上位成果指標	① %		83.6	82.8	82.3	90.9	90.9	90.9
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の3簡易水道が供用開始され、30年以上が経過しており、老朽化が課題となっている。また既存資料についても紙ベースでの保存であり、今後の維持管理に支障がでる恐れがある。	2. 今後の取組 (2020年度及び2021年度以降の方向性・課題の解決方法) 長期にわたり施設を利用できるよう点検や整備を行い、既存施設を運用しながら修理や補強を行うことが必要となる。今後も継続的に維持管理できるよう、既存施設の台帳整備を実施する。
--	--